

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 1

種 目	国 語	発 行 者	光村図書
○ 国語科の学習では、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成が求められている。 ○ 各者とも、主体的・対話的で深い学びを促進させることや学習課題を設定し、見通しをもたせた内容となっている。 また、言語活動の題材としてSDGs関連としていることや、学びやすい配色や字体となるようユニバーサルデザインを使用していること、読書活動につなげるため図書紹介を掲載していることなど、全学年において生徒の学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 中でも、「光村図書」の教科用図書は、全ての学習活動において、言葉に着目し、語彙を広げ、語感を磨くための工夫がなされているとともに、全学年で「学びへの扉」を設け、学習課題を設定し、見通しを持たせた中で、自分で考えた観点をグループで語り合うなど、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫がされている。 ○ また、場面や描写を結びつけて内容を解釈したり、文章の構成や表現の効果についてグループで語り合ったりするなど、考えを広めたり深めたりする活動を取り入れ、資質・能力を身につける学習過程を焦点化している。 ○ さらに、単元で身に付けさせたい力が領域別に示されているほか、単元の目標、とらえる、読み深める、考えをもつ、振り返る等、単元を見通した授業づくりがなされる工夫がされている。			

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 2

種 目	書 写	発 行 者	光村図書
○ 書写は国語の学習のうち、各教科の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成すること。さらに、我が国の伝統的な文字文化を継承し、これからの社会に役立つ様々な文字文化に関する「知識及び技能」について理解し、文字を効果的に書くことができる力を育成することが示されている。 ○ 各者ともに、書写の学習を通して幅広い知識・教養を身につけるとともに、書写で培った「文字を正しく整えて速く書く力」を国語や他教科、日常の言語生活で活かす態度を育成できるように工夫されている。 ○ 中でも、「光村図書」の教科用図書については、多彩な QR コンテンツで書写の学びをサポートするとともに、全教材に学習のポイントがひと目でわかる「学びのカギ」を設け、生徒の主体的学習の助けとなるよう配慮されている。 ○ また、「光村図書」の教科用図書については、ICT を活用した学習が進められやすいようにデジタルコンテンツが豊富であることや、思考力・判断力・表現力等と関連させながら生徒が見通しを持ちながら主体的に学習できる配慮等の工夫がされている。 ○ さらに、全ての題材に「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」という明確な学習過程が位置づけられ、点画の理解や筆使いなど、順序立てて学べるように工夫されている。			

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 3

種 目	社会（地理的分野）	発 行 者	東京書籍
○ 社会科の地理的分野では、見方・考え方を働かせ思考力・判断力・表現力を育み、持続可能な社会の実現に向けた環境問題や地域の将来像を考えるなど、生徒の興味・関心を引き出し、主体的・対話的な学習へ導き出すような能力を育成することが大切である。 ○ 各者とも、学習指導要領の社会地理的分野の目標である「社会的事象の地理的な見方考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成できる」を達成できるよう工夫されている。 ○ 中でも、「東京書籍」の教科用図書については、「探究課題」を設定する活動や1時間の学習課題を解決する「チェック＆トライ」、単元を振り返る活動「探究のステップ」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ また、学習の導入部に生徒の興味・関心を引き出す仕組みとして「導入資料」を設け、1時間の学習の流れを見える化するとともに、1人1人の資質・能力を育む工夫として、小集団での参加型学習である「みんなでチャレンジ」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされている。 ○ さらに、世界の諸地域の象徴的な写真を掲載し、地域の姿を映し出す「世界の窓」を新設し、世界の生活や文化を視覚的に学習させるとともに、世界や日本の各地の中学生が自分の暮らす地域を語るコラムを設け、学習する地域がより身近に感じ、興味・関心の持てるような工夫がされている。			

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 4

種 目	社会（歴史的分野）	発 行 者	東京書籍
○ 社会科の歴史的分野では、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追 究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化 する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者 に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することが大切である。 ○ 各者とも、歴史に関わる事象の意味や意義、伝統文化の特色などを多 面的・多角的に考察し、複数の立場や意見を思考しながら議論できるよ うな工夫がされており、小学校社会からの連携にも配慮され、系統的・ 発展的に学習ができるように構成されている。 ○ 中でも、「東京書籍」の教科用図書については、課題解決的な学習を 実現できるよう「問い」を中心に単元を構造化し、単元を貫く探究課題 を設定し、1時間毎の学習課題とつなぐことで段階を踏んでスムーズに 探究活動が進められるよう工夫されている。 ○ また、アイヌ民族の歴史や文化に関する記述が多く、多様性を尊重す る態度を養える工夫がされているとともに、「アイヌ文化とその継承」 として、アイヌ文化の成立と展開や文化継承の動き等を学び、我が国に おける文化の多様性に気づき、尊重する態度を育成することができるよ う工夫されている。 ○ さらに、北海道における、江戸時代の最上徳内、近藤重蔵、間宮林蔵 らの北方探検の地図を掲載してその行程を紹介するなど、当時の歴史的 背景について深い理解が得られる先人たちの業績が理解できるよう配 慮されている。			

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 5

種 目	社会（公民的分野）	発 行 者	教育出版
○ 社会科の公民的分野では、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することが大切である。 ○ 各者とも、主体的に課題を探究し、自分の考えをまとめたり、表現したりする活動ができるような生徒を育成するための工夫や、学習効果を向上させるための ICT 活用に工夫がされている。 ○ 中でも、「教育出版」の教科用図書については、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応を踏まえ、学習課題を設定し、見通しを持たせるなどの工夫や、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。 ○ また、「問い」を軸にして課題解決的に追究していく構成が明確で、単元を貫く課題が自分ごととして捉えられ、章末には表現する活動や意見交換により考えを深める活動を習慣づける工夫がされている。 ○ さらに、北海道関連の事例では、地域を身近に実感できる、倶知安町の「みんなで親しむ雪条例」を掲載するなど使用上の配慮がされている。			

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 6

種 目	地 図	発 行 者	帝国書院
○ 社会科の地図では、グローバル化する国際社会で活躍するための基礎教養として地図帳の活用を通して日本と世界の幅広い知識を身に付け、地理的事象の背景や要因等を深く追究する態度を育成することが大切である。 ○ 各者とも、日本及び世界各地の一般図、鳥瞰図や地形図を始めとして、主題図等を活用した多数の統計的な資料などを掲載し、様々な用途で活用できるよう工夫されている。 ○ 中でも、「帝国書院」の教科用図書については、基本的な知識を確認することができるコンテンツが収録されているなど、小学校からの連携を意識できるような構成になっており、世界各国や地域のページにおいて「日本との結びつき」を示した資料や、「大陸からみた日本」という新たな視点の資料を掲載することにより、日本と関連付けて考えることができるよう工夫されている。 ○ また、生徒の学習意欲を高め、学習を深めるために、北海道における明治時代の開拓やアイヌ語由来の地名、北方領土に関する歴史地図を掲載し、地域の特徴について学ぶことができるよう工夫されている。 ○ さらに、QRコードを読み取ることにより、地図活用のための動画やアニメーション、クイズ、統計資料などのコンテンツにつながるなど1人1台端末を活用した学びを深める工夫がされている。			

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 7

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発 行 者	開隆堂
○ 技術分野は、生活や社会の中から問題を見だし、解決する力を育成し、よりよい生活や、持続可能な社会を構築し、将来にわたり生活を工夫したり創造したりしようとする実践的な態度を育成するための重要な教科である。 ○ 各者ともに、学習内容について主体的に調べたり、設計やプログラム、実践ができる内容となっており、写真やイラストを活用し、実践や体験をすることで、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 特に、「開隆堂」の教科用図書は、教科書全体の流れとして、ガイダンス→内容→出口の順に示されており、生徒が学習の流れを理解しやすい構成となっている。 ○ また、新たに「CHECK」といった項目を設け、学習課題に対する生徒1人1人の到達度を自己評価することができ、主体的に学習に取り組むことが期待される。 ○ さらに、質問形式の構成であることや、中学生へのメッセージが掲載されているなど、生徒自身が将来をイメージできるよう工夫がされており、キャリア教育の充実にも期待される。			

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 8

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発 行 者	開隆堂
○ 家庭分野は、家族・家庭や地域における生活を見つめることを通して、問題を見出し、実践的・体験的活動を通して生活を工夫し、持続可能な社会を生きるための重要な教科である。 ○ 各者ともに、3つの学習内容について、豊富な写真やイラストを活用し、生活の営みに関わる見方・考え方を働かせ、生活を工夫し創造する資質・能力を育てることができる内容となっている。 また、生徒が生活課題に気づき、興味・関心を持って考え、学んでいけるように工夫されている。 ○ 特に、「開隆堂」の教科用図書は、家庭や地域で実践できるように、実践の進め方やまとめ方が掲載されていることから計画を立てやすく、また、多種多様な課題例を豊富に紹介されており、生徒が課題の設定と実践のイメージをもちやすくなるよう工夫されている。 ○ また、項目や実習・製作のページに QR コードを記載することによって生徒がより主体的に学習に取り組めるなどの配慮がされている。 ○ さらに、目に見えない事象を写真やイラストで視覚化することで、生徒の学習意欲を高める工夫がされていることや、調理や制作の実習ページの構成が、多様な生徒にも分かりやすくなっている。			

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 9

種 目	数 学	発 行 者	教育出版
○ 数学科の学習では、発達段階に応じた数学的活動をより充実させ、基礎的・基本的な知識・技能を着実に身に付けさせるとともに、数学的な思考力、表現力を育て、学ぶ意欲を高めることが求められている。 ○ 各者ともに、確実な定着の観点から各学年における系統性を重視しつつ、身の回りの問題を取り上げることにより、数学が実社会で役立っていることなど、数学を学ぶ意義を実感できるよう工夫されている。 また、習熟に応じた取組の配慮がなされており、「主体的・対話的で深い学び」に向けた生徒の学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 中でも、「教育出版」の教科用図書は、全ての章の始まりと終わりに学習したことを振り返る場面を設定するとともに、本文中にも「もどって確認」を設けるなど、振り返る場면을豊富に設定することで、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされている。 ○ また、主体的・対話的で深い学びの視点から、生徒が「問い」をもち、その「問い」を学級みんなで解決し、さらに新しい「問い」に向かう、このような学びの姿を通して、思考力・判断力・表現力を身に付けられるように工夫がされている。 ○ さらに、数学的な見方・考え方を既習内容の具体例を基に紹介したり、数学の有用性を感じられるよう、実社会や生活、先端テクノロジーなどに関する話題を取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。			

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 1 ○

種 目	理 科	発 行 者	啓林館
○ 理科の学習では、自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究するために必要な技能の習得や科学的に探究する力、探究しようとする態度を育成することが大切である。 ○ 各者とも、知識及び技能の習得について生徒の学習意欲を高める工夫がされており、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の工夫や配慮がされている。 ○ 特に、「啓林館」の教科用図書は、学習の前に生徒に興味や関心を引き出す QR コードを各章の前に配置し、「主体的な学び」を促している。 ○ また、単元の最後に対話を強く意識し、探究活動を模擬体験する場面が設定されており、「対話的な学び」に期待ができる。 ○ さらに、本文の記述が丁寧で、探究の過程である課題の把握、追究、解決の流れがイメージしやすく、また、よりきめ細かく学習課題等を設定し、それを繰り返しながら資質と能力が身につく「確かな学力」へとつながるように工夫されている。			

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 1 1

種 目	外国語	発 行 者	東京書籍
○ 外国語科では、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することが大切である。 ○ 各者とも、学年の発達段階等に応じて、主体的・対話的で深い学びに資する学習内容などが系統的・発展的に組織されており、分量も適切である。 また、QRコードを随所に配置し、画像や音声等の資料を提示されるようになっており、視覚的・聴覚的に捉えやすいものとなっている。 さらに、個別最適な学びと深い学びの推進や SDGs を意識した内容が充実している。 ○ 中でも、「東京書籍」の教科用図書については、小学校で学んだ表現などを振り返りながら、知識の理解や各領域の資質・能力の育成に向けた段階的な学習の流れが分かりやすく、深い学びにつながるよう意図されている。 ○ また、「誰一人取り残されない」学びの実現を意識し、小中間や学年に応じてスモールステップが大切にされていることや、各単元で色・写真・イラスト等に統一感があることで、読みやすい構成になっている。 ○ さらに、段階を追った指導や生徒の学習意欲を高め主体的に学習に取り組むことができる工夫がされている。			

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 1 2

種 目	音楽（一般）	発 行 者	教育出版
○ 音楽科では、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにあたり、曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し、音楽表現を創意工夫すること、音楽の良さや美しさを味わって聞くことができるようにすること、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、豊かな情操を培うことが求められています。 ○ 各者とも、何を学ぶのか、どのように学ぶのか、何を考えるのか等が明確にされており、学習への見通しを持たせるとともに、複数の楽曲を比較して音楽の良さを考えたりするなど、音楽の良さやその価値を考える学習が展開できる内容となっており、主体的・協働的な学びを深める工夫がされている。 ○ また、授業や個別最適な学びを支えるデジタルコンテンツも豊富に用意され、生活や社会の中の音楽や音楽文化と豊かに関わりながら学習できる配慮がされており、音楽的な見方・考え方を働かせ、イメージや感性の羽ばたきを促す工夫がされている。 ○ 中でも、「教育出版」の教科用図書については、進んで学び合うための活動例が示されるとともに、楽曲の良さや魅力についてまとめるコーナーが設けられ、創作教材においては教材ごとに作品を発表して交流するなど、主体的・対話的な学びを引き出す工夫がされている。 ○ また、全般的に情報量が多く、主体的に発展的な学習を進めることが可能な内容となっている。			

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 13

種 目	音楽（器楽合奏）	発 行 者	教育出版
○ 音楽科では、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにあたり、曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し、音楽表現を創意工夫すること、音楽の良さや美しさを味わって聞くことができるようにすること、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、豊かな情操を培うことが求められています。 ○ 各者とも、何を学ぶのか、どのように学ぶのか、何を考えるのか等が明確にされており、学習への見通しを持たせるとともに、複数の楽曲を比較して音楽の良さを考えたりするなど、音楽の良さやその価値を考える学習が展開できる内容となっており、主体的・協働的な学びを深める工夫がされている。 ○ また、授業や個別最適な学びを支えるデジタルコンテンツも豊富に用意され、生活や社会の中の音楽や音楽文化と豊かに関わりながら学習できる配慮がされており、音楽的な見方・考え方を働かせ、イメージや感性の羽ばたきを促す工夫がされている。 ○ 中でも、「教育出版」の教科用図書については、歌唱・創作・鑑賞の教材として、QRコードを用いることで、活動の仕方がよりわかりやすく、正確に知識・技能が身につくよう配慮されている。 ○ また、音楽制作アプリを使用して創作する活動を取り入れるなど、ICT 機器を効果的に活用して主体的な学習への意欲を高め、個別最適な学びを支える工夫がされている。			

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 1 4

種 目	美 術	発 行 者	光村図書
○ 美術科では、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるため、対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにすること、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を育成することが大切である。 ○ 各者とも、各題材の冒頭に目標及び育成すべき3つの資質・能力の具体的な行動目標がわかりやすい言葉で明記されており、生徒が授業の流れを理解し、見通しをもって学習に臨めるよう配慮されている。 また、各題材を内容ごとに色で表示したり、用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを付するとともに、1人1台端末を活用した学習活動としてQRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 ○ また、ウポボイやアイヌ民族など、北海道のアイヌ文化にちなんだ題材が多く取り扱われ、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 中でも、「光村図書」の教科用図書については、中学3年間で必要な基本的技法等をまとめたものを資料編として別冊で編成したことで、誰でもわかりやすい物となっており、創造力を高める紙面構成により、自主的で効率的な学習ができるように構成されている。 ○ また、技法動画や生徒作品のスライドの数が他者よりも多く、視覚的に分かりやすいコンテンツが揃っている。さらに、作品の制作意図や感想が掲載され、自分の感性や発想と比較し客観的視点で深い学びにつなげる構成となっている。			

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 15

種 目	保健体育	発 行 者	大修館書店
○ 保健体育科では、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するため、運動や健康について自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力や、生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を育成することが大切である。 ○ 各者とも、健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康や健康と環境などの学習内容について、課題の発見や解決に向け、資料を基に思考・判断できる内容となっている。 ○ また、スポーツの多様性と効果や文化的な意義などについて、QRコードを掲載し、豊富な情報量への対応や各章の資料などへアクセスをしやすくするなど、使用上の便宜も図りながら、系統的・発展的に学習できる内容となっている。 ○ 中でも、「大修館書店」の教科用図書については、実技の教科として知識・技能、思考・判断・表現や主体的に学習に取り組む態度の3観点毎にきめ細かく整理されている。 また、健康についても、身近に迫る薬物の危険性や薬物依存の形成を資料で掲載している。 ○ さらに、熱中症の予防等に関する内容を取り上げているページが豊富で、北海道の気候変動に対応するものとなっており、現代社会における課題について触れている。			

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択理由

No. 16

種 目	道徳科	発 行 者	学研
○ 道徳科の学習では、「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」ことを目標とし、「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習」を進める必要がある。 ○ 各者とも、いじめ問題や SNS の取扱い、命の大切さなどについて、多面的・多角的に考えられるようになっており、生徒の道徳的判断力等を育成する工夫がされている。 ○ 特に、「学研」の教科用図書は、「自分を見つめ伸ばす」、「人と支え合う」、「社会の一員として」、「生命を輝かせて生きる」の4つの視点をバランス良く配置し、生徒が道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力が育成されるよう工夫されている。 ○ また、ネット時代特有のいじめの解決方法を考察し、いじめ防止に関する教材を各学年に配置したり、進行性筋萎縮症などをもとに生命を尊重することの大切さについて考える活動を取り上げるなどの工夫がされている。 ○ さらに、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め判断し、表現する力などを育成することができるよう工夫や、新感覚型の教材を充実させ、多様な観点から問題意識を喚起するなど生徒の学習意欲の向上が期待される。			